7 インチ液晶 デジタルフォトフレーム

DIGITAL PHOTO FRAME

製品型番 **DS-DA70N200BRM/PM/WH**　取扱説明書

本製品のご使用にあたりご確認頂きたいこと

[再生メディアについて]：

挿入メディアやファイルの再生は、作成状況や種類によっては再生できないものもあります。接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません、予めご了承ください。また、大容量メディアや大きいサイズのデータを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

挿入メディア内にウィルスに感染したデータや破損したデータがあると認識できないだけでなく、フォトフレーム本体や接続 PC の不具合や故障につながります。メディアとその中身のデータは PC 上で定期的に診断やウィルスチェックを行なってください。

[メディアの認識と本体機能の切り替え]：

メディアを挿入して読み込ませるには「本製品でどのメディアを読み込むか？」及び「どの操作を行なうか？」を指定する操作が必要です。これらが適切に設定されていないと挿入メディアを読み込むことができません。詳細は P20 をご覧ください。

[付属スタンド]：

付属スタンドは横置きを想定した形状です。縦置きはできません。

[内蔵メモリ]：

本製品に内蔵メモリは搭載していません。

目次

はじめに ····· P 2

本製品のご使用にあたり、ご理解頂きたい内容をまとめてあります。

1.本体・リモコンの各部機能 ····· P 6

フォトフレーム本体・リモコンの各部名称と操作をご紹介してあります。

2.本体と各種接続 ····· P10

メディア挿入や PC・電源接続等の各種接続をご紹介しています。

3.電源を入れる、各種操作 ····· P12

起動から各種再生操作、及び切り替えや設定をご紹介しています。

4.故障かな？　と思ったら ····· P25

不具合が生じた際の対処法をまとめてあります。

製品仕様／お問い合わせ ····· P32

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう、大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また改良のため、予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

□ デジタルフォトフレーム本体　□ スタンド　□ リモコン
□ AC 電源アダプタ　□ イヤホン　□ miniUSB ～ USB ケーブル
□ AV ケーブル　□ 取扱説明書／保証書

使用上の注意

●本製品をご自身で修理したり、分解したりしないでください。液晶内の部品に高電圧の物もあり、大変危険です。また、本製品に強い力をかけたり、重い物を置かないでください。本製品あるいは接続メディアが破損する場合があります。
●本製品には USB 端子を搭載していますがストレージ以外の製品（通信用装置、ワンセグチューナー等）を接続して使用することはできません。またストレージであっても USB からの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため使用できない場合があります。
●風呂場や台所等、水気のかかる場所や湿度の高い場所で本製品を使用しないでください。また、濡れた手で本製品を触らないでください。ショートや感電のおそれがあります。
●本書に従い、正しく配線を行ってください。正規の配線が行われないと、故障や損傷、あるいは身体に危険が及ぶおそれがあります。
●お手入れをする場合は必ず本製品の電源を切り、電源ケーブルを外してください。乾いた柔らかい布で手入れを行いアルコール、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。
●寒い場所から暖かい場所に移動した時、内部で結露を生じる場合があります。その場合は１、２時間そのままの状態で放置してください。
●不安定な場所、ホコリの多い場所、高温多湿な場所、通気の悪い場所、直射日光下に本製品を置き去りにしないでください。また、車内への置き去りもご遠慮ください。
●ディスプレイは非常に高度な技術で製造されていますが、一部点灯しないまたは常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。予めご了承ください。

電源供給に関する注意

●付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。接続前に電圧が適正かを確認してください。また、配線は適切に行なってください。特に電源ケーブルを束ねたり分配したりして使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり故障するおそれがあります。
●配線が切れかかった電源コードは使用しないでください。また、プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。ショートによる火災の原因になります。

メディアの挿入時、電源接続時の注意

本機には各種再生を行なうフォトフレームとしての機能、及び PC 接続しカードリーダーのようにデータを転送する機能が備わっています。これら操作に応じた設定の切り替えと、併せてどのメディアを読み込ませるのかを選択する操作が必要です。これらが適切に切り替えられていないと、各種認識の不具合が生じます。
各種設定については P20 にてご確認ください。

【フォトフレームへのメディア挿入】：

●直接挿入することが可能なメディアは、USB メモリ／ MMC ／ CF です。スロットへの異物挿入は機器の故障につながりますので、絶対におやめください。メディアは端子の向きを確認した上で正しい向きで挿入してください。間違った向きやズレた位置で無理矢理挿入した場合、端子部が破損したり挿入メディアが取り外せなくなったりします。
●記録データの損失につながりますので、再生中は各種メディアや接続ケーブル等を取り外さないでください。接続機器の取り外しは電源をオフにした状態で行なってください。
●万が一故障や不具合が発生してデータや機会損失があった場合、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
●大容量の記録メディアや大きいサイズのデータを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

【PC 接続について】：

●パソコンと接続してデータ通信中は機器やデータの損失につながるので、次のような行為は絶対にしないでください。[USB ケーブルや挿入メディアの取り外し／電源のオン・オフ操作や電源アダプタの取り外し／移動や乱暴な扱い等、本製品へ衝撃を与えること]
● 1 台のパソコンに複数の USB 機器を接続したり、分配用の USB ハブを介して接続したりしていると正常に動作できない場合があります。このような場合には、USB ハブなどの分配装置を取り除いてパソコンに単独で接続してください。
●持ち運んだり移動したりする場合は必ず電源をオフにしてアダプタや配線、メディアを取り外した後に行なってください。通電状態やメディアを接続した状態で本製品に衝撃を与えた場合、本製品の不具合を招くだけでなく記録データの損失にもつながります。

再生可能なファイル

…写真や音楽、映像等のパソコンで作成したメディアやファイルの再生については、メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によっては正常に再生できない、または読み込めないものもあります。このため接続する全てのメディアやファイル形式の動作を保証することはできません、予めご了承ください。
また、大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

[再生可能なファイル]

・写真…jpg/.jpeg/.bmp
・音楽….mp3/.wma
・映像…ファイルフォーマット：.avi/.mpg
ビデオコーデック：mpeg1/mpeg2/mpeg4
音声コーデック：mp2/mp3/ac3/wma
・書類….txt（リッチテキストや html 等の多機能ファイル形式を除く）

（補足 1）ファイル名
本機では日本語ファイル名の表示が可能ですが、一部文字化けします。特殊記号等の文字化けによるファイル認識エラーも生じますので、ファイル名は基本的には半角英数字の使用をお勧めします。
挿入メディアに不可視ファイルが存在すると認識不具合が生じます。PC 上で削除してから本機に挿入してください （例：ファイル名の先頭に「 . 」のついたものや、薄いグレーで表示されるファイル）。

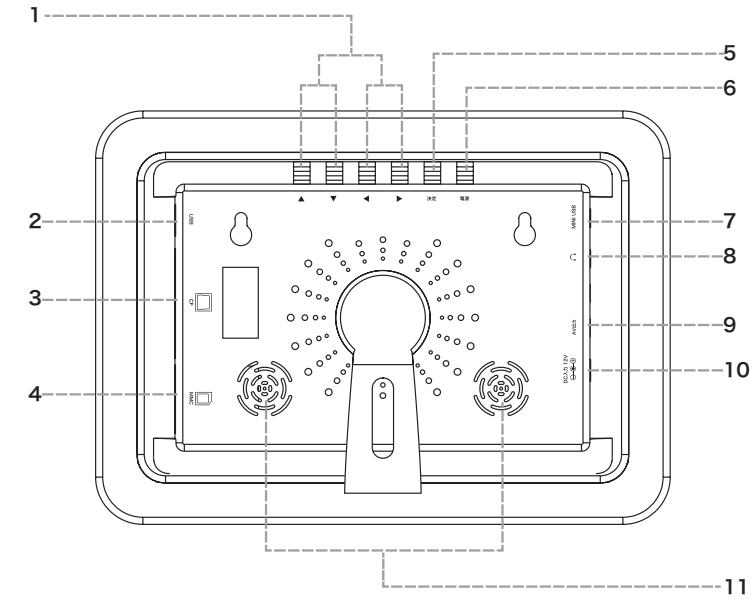
（補足 2）ファイルの診断
挿入メディアとその中身のファイルは PC にて定期的に診断やウィルスチェックを行なってください。破損したデータの入ったメディア及びウィルス感染したメディアは読み込めなくなるだけでなく、本機や接続 PC の不具合を招きますのでご注意ください。

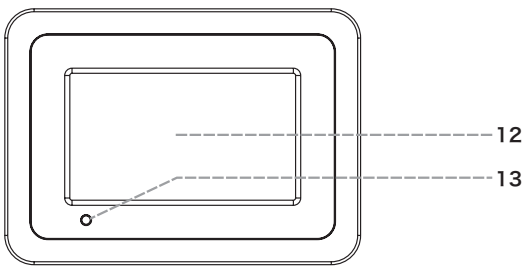
あらかじめご了承いただきたいこと

●本書の内容、本製品の仕様・外観等は、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の内容につきまして万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください（お問い合わせ先は、製品付属の保証書をご覧ください）。
●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。
●万一、本製品の使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害・逸失利益・第三者からのいかなる請求につきまして、弊社では一切その責任を負えません。
●接続機器との組み合わせによる誤作動から生じた故障や損傷に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
●地震や雷の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
●故障、修理、その他の理由に起因する損害および逸失利益につきまして、弊社では一切の責任を負えません。
●保証書への購入日・購入店の記載の無い物、保証書に記載された内容に相違のある場合等、当社では一切の責任を負えません。
●本製品は、一般家庭でのご使用を目的として製造されております。業務用（店舗や展示用の長時間連続使用等）としてご使用された場合、保証期間内であっても保証の対象外となります。
●本製品は、日本国内での使用を想定して製造されています。海外でのご使用はサポート対象外とさせていただきます。

1 本体・リモコン各部機能

フォトフレーム本体／各部名称と機能

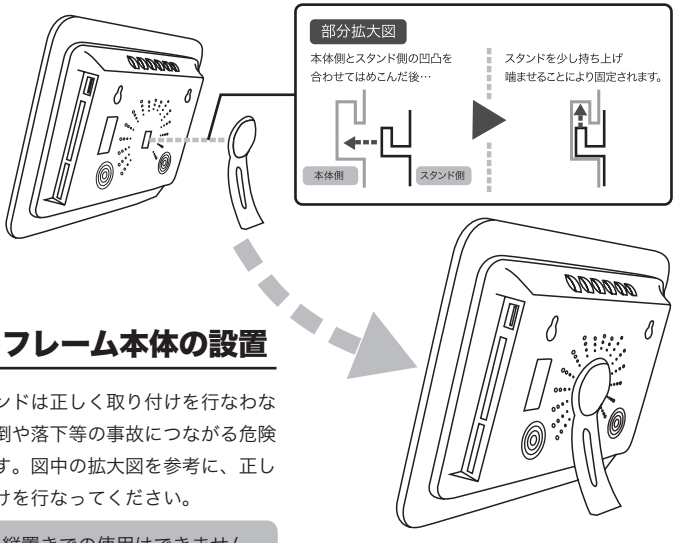




各部機能の紹介

※ここでは各部の名称、および簡単に機能の紹介をしました。具体的な使用法、詳細については各接続、および使用方法の紹介ページをご覧ください。

NO.	名称	機能
1	方向ボタン	選択枠の移動や、設定画面内での項目選択に使用します。
2	USB 端子	USB 機器を接続します。
3	CF スロット	CF カードを接続します。
4	MMC スロット	MMC カードを接続します。
5	決定ボタン	選択した項目を確定します。
6	電源ボタン	約 3 秒間長押しすると電源ボタンとして機能します。 起動中は停止ボタンとして機能します
7	miniUSB 端子	付属のケーブルを用い、パソコンと接続するときに使用します。
8	イヤホン端子	イヤホンを接続します。
9	AV 出力	付属のケーブルを用い、テレビやモニタと接続します。
10	電源入力	付属の AC アダプタを用い、電源コンセントと接続します。
11	スピーカー	音声出力を行ないます。イヤホン接続時、消音時にはスピーカーから音声出力はされません。
12	液晶画面	写真や映像を表示します。
13	リモコン受光部	リモコン操作はこちらを向けて行ないます。

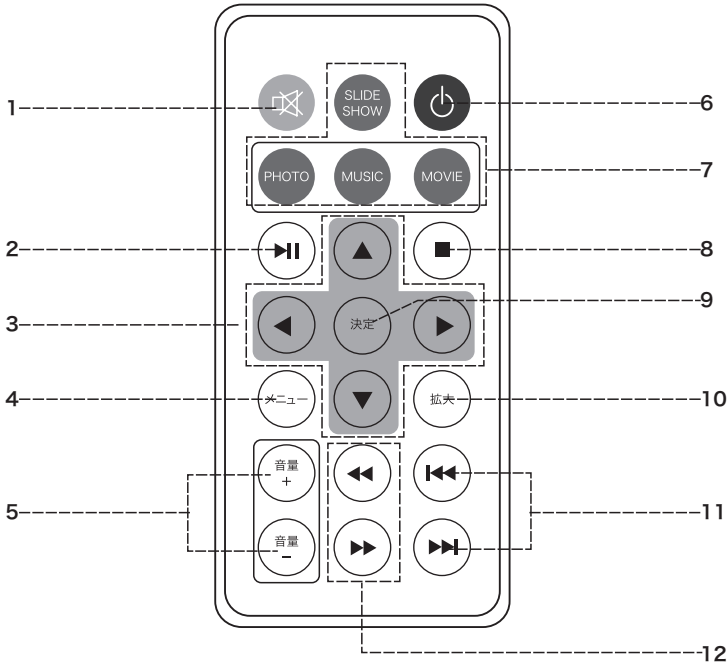


フォトフレーム本体の設置

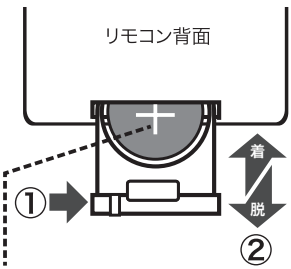
付属スタンドは正しく取り付けを行なわないと、傾倒や落下等の事故につながる危険があります。図中の拡大図を参考に、正しく取り付けを行なってください。

【注意】:縦置きでの使用はできません。

リモコン／各部名称と機能



リモコン用電池のセット／交換



…この面に「+」面が向くように電池をセットします

①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。

②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。

③電池を交換します。セットするボタン電池は"＋"と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにセットしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

［注意］

各部機能の紹介

※ここでは各部の名称、及び簡単な機能の紹介をしました。詳細は各種使用方のページをご覧ください。

NO.	名称	機能
1	消音	音楽や映像を再生中に一時的に音量を消します。 ボタンを押す毎に消音／出音が切り替わります。
2	再生／一時停止	ボタンを押すとファイルが再生されます。再生中はボタンを押す毎に一時停止／再生の動作が切り替わります。
3	方向	ファイル一覧画面ではファイルを選択、設定画面では項目選択や設定切り替えに使用します。
4	メニュー	ボタンを押す毎に、設定画面の表示／非表示を切り替えます。
5	音量	音楽や映像を再生中に、音量を調節します。
6	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
7	ジャンプ	各再生モードにジャンプします。 [SLIDE SHOW]：写真・音楽同時再生 [PHOTO]：写真再生　[MUSIC]：音楽再生 [MOVIE]：映像再生
8	停止	再生中にボタンを押すと、停止します。
9	決定	ファイル一覧画面や SETUP 画面で、選択した項目を確定する時に使用します。
10	拡大	写真や映像を再生中に、画像の一部を拡大表示させます。 ボタンを押す毎に倍率が切り替わります。画像拡大中は方向ボタンを使用して、画面への表示領域を変更することができます。
11	スキップ （進／戻）	再生中に押すと、前後のファイルを頭出しします。
12	早送り／早戻し	再生中に押すと、早送り／早戻し再生をします。ボタンを押す毎に速度が切り替わります。

[リモコン用電池についての注意]

※リモコンの電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用になる分は、別途ご用意ください。

※初めてリモコン使用する場合、電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれていますので、それを引き出してから使用してください。

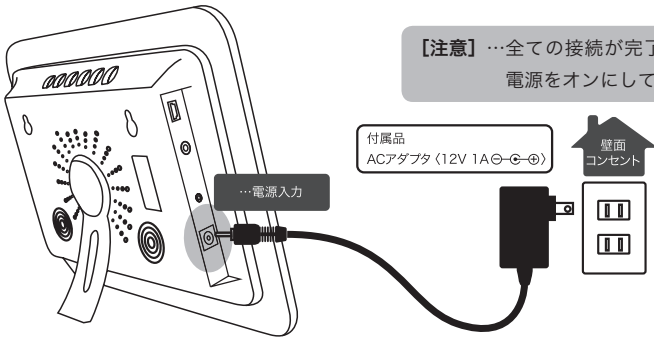
※長期間本製品を使用しない場合は、リモコンの電池を取り出して保管してください。

2 本体と各種接続

電源の接続

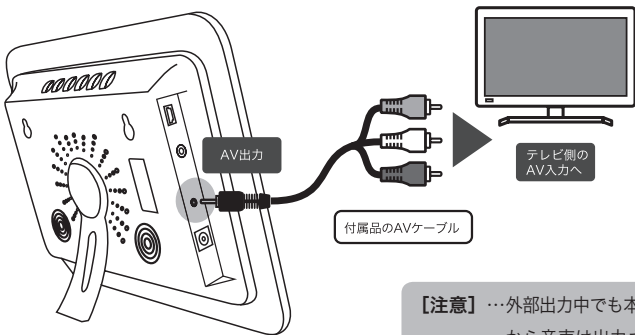
付属の AC アダプタを使って、本体側面の電源入力とコンセントを接続します。

【注意】…全ての接続が完了した後に電源をオンにしてください。



テレビの接続

付属の AV ケーブルを使ってテレビやモニタに接続すると、本機で再生している映像を外部機器に出力することができます。接続が終えたら、テレビ側で本機の繋がっている端子に入力切り替えをしてください（詳細はテレビの取扱説明書でご確認ください）。

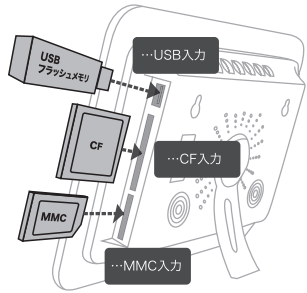


【注意】…外部出力中でも本体スピーカーから音声は出力されます。

各種メディアの挿入

本体を背面から見て、メディアのラベル面が手前にくる向きで挿入します。

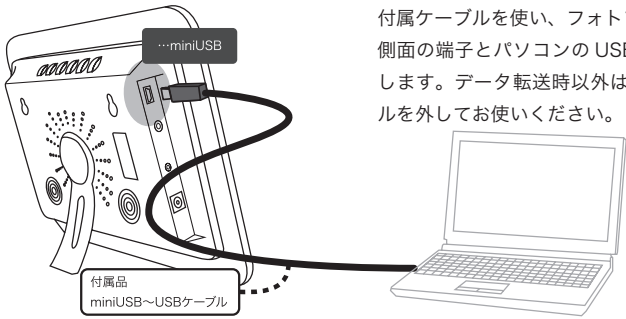
[注意]：誤って挿入すると端子が破損したり、取り出せなくなったりします。メディアによって端子やラベルの向きが右図と異なる場合がありますのでご注意ください。複数のスロットがありますが一度に認識できるメディアは一種類だけです。



【対応メディア】：
USB メモリ／ MMC ／ CF

パソコンの接続

付属ケーブルを使い、フォトフレーム本体側面の端子とパソコンの USB 端子を接続します。データ転送時以外は USB ケーブルを外してお使いください。



【重要】：メディアの認識、本体機能の切り替え

本製品の使用にあたり、設定→カスタマイズメニュー内の**「USB モード／メディア」**を確認してください。操作に合わせた設定がされていないと、メディアを認識することができません。以下を参考に操作に合わせた設定をしてください。

【 本体にメディアを接続して、フォトフレームで再生 】… の場合

・USB モード　…機能を選びます、「本体に接続」を選んでください
・メディア　…挿入した（読み込ませたい）メディアを選択してください

【 PC に接続して、本製品をカードリーダーとして使用 】… の場合

・USB モード　…本体機能を選びます、「PC と接続」を選んでください

詳細は P20 へ→

3 電源を入れる各種操作

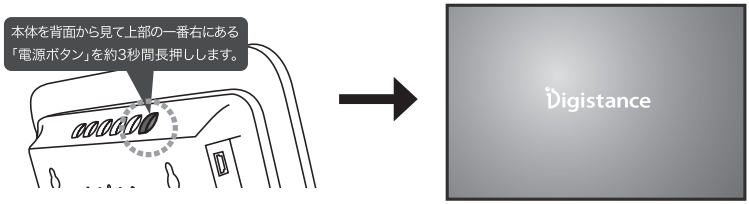
[この章の内容]
本章では基本画面からの各種操作についてご紹介します。

起動〜基本画面の表示

フォトフレームが起動すると、基本画面が表示されます。この画面から希望の操作を選び、各種再生や設定を行ないます。まずは、基本画面内の操作を覚えてください。

手順 1 ：本体の電源を入れる

フォトフレーム本体上部の「電源ボタン」を約 3 秒間長押しすると電源がオンになり、画面にブルーの背景に「digistance」ロゴの起動画面が立ち上がります。



【起動画面】

手順２　：基本画面を表示させる

本体にメディアを挿入していない時は手順１の起動画面の直後、下図の基本画面が表示されます。

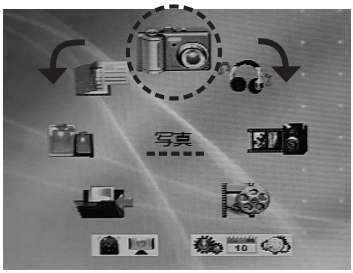
メディアを挿入している場合、ご購入時の設定では、写真データを認識すると手順１の起動画面が表示された後に自動的にスライドショー再生が始まります。ここでは再生を一旦止めて基本画面を表示させてください。

自動的にスライドショー再生が始まった場合は、リモコンの「停止ボタン」を押してスライドショーを停止させると基本画面が表示されます。

【基本画面】

基本画面

基本画面内の操作をご紹介します。この画面から各種再生や設定、編集などの実行したい操作のアイコンを選んで各々の操作に映ります。



【メニュー画面】
補足：上図は写真再生用のカメラ形のアイコンが選択されています。

基本画面の操作

【操作を選ぶ】：
…リモコンの「左右方向ボタン」を押すと画面内のアイコンが回転します。
操作したいアイコンが中央にくるように回転させて「決定ボタン」を押すと、各々の操作画面に進みます。

【別の画面から基本画面に移動する】：
…写真再生や設定画面等でリモコンの「停止ボタン」を押すと基本画面に戻ります。

次ページへ続く

基本画面のアイコン

…基本画面内の各々のアイコンは以下の内容を示しています。各種操作の詳細は、記載のページをご覧ください。

写真 → P15

写真ファイルを再生します

音楽 → P16

音声ファイルを再生します

写真+音楽 →P17

写真・音楽ファイルを同時に再生します

ムービー →P17

映像ファイルを再生します

設定 → P18

各種設定を行ないます

カレンダー →P21

カレンダーを表示します

時計 → P21

時計を表示します

アラーム → P22

アラームを設定します

自動電源 →P22

自動電源オン／オフの設定をします

編集 → P23

ファイルコピーや削除等の編集作業を行ないます

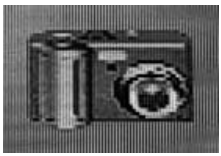
eBook → P24

テキストファイルを再生します

各種操作

各種操作の詳細をご紹介します。基本画面より操作を選択後、決定ボタンを押します。

写真を再生する



…読み込ませたいメディアを挿入後､基本画面から「写真」アイコンを選んで決定ボタンを押すと写真再生画面が表示されます。
ご購入頂いた状態では「写真」アイコンを選んで次画面に進むと、スライドショー再生が始まります。
スライドショー再生は認識した写真ファイルを自動的に切り替え、順に再生させる機能です。

【再生可能なファイル】： .jpg / .bmp
…再生可能ファイルについては P28 の注意をお読みください。

【スライドショー再生中のリモコン操作】：

⏯ …スライドショー再生を一時停止させ、一枚の写真を表示し続けます｡もう一度ボタンを押すと、スライドショーが再開します。

■ …再生を止めて、基本画面に戻ります。

拡大 …表示を拡大します。拡大中に方向ボタンを押すと、画面表示領域を移動することができます。

⏮ ⏭ …次（前）のファイルを表示します。

◀ ▶ …再生中に押すと写真が90°づつ回転します。

▲ ▼ …再生中に押すと写真が反転します。

PHOTO …別画面を表示中にボタンを押すと写真再生画面にジャンプします。

【読み込みメディアを選ぶ】：再生操作の全てにおいて本体にメディアを挿入した後「設定メニュー」から「どのメディアを読み込むか？」を選択する必要があります。挿入したメディアと別のものが有効になっているとデータを認識できません。操作は「設定メニュー（P20）」からご確認ください。
【写真再生に関する設定】：本ページでご紹介した通り、お買い上げ頂いた段階では写真アイコンを選んだ後スライドショー再生が始まるよう設定されています。スライドショーの間隔や切り替わり方、及び再生時の各種動作等は「設定メニュー」にてお好みで変更することができます。詳細は P18 をご確認ください。

音楽を再生する

…読み込ませたいメディアを挿入後、基本画面から「音楽」アイコンを選んで決定ボタンを押すと音楽再生画面が表示されます。
音楽再生画面の左半分は読み込み中のメディアやフォルダの一覧が表示されます。
画面右半分には読み込みメディアやフォルダの中身が表示されます。

【再生可能なファイル】：.mp3 / .wma　…再生ファイルについては P28 を参照。

【音楽再生中の画面表示】：

…画面左側には読み込み中のメディアとフォルダ（フォルダ分けされている場合に限る）が、右側にはその中身のファイルが表示されています。

【音楽再生中のリモコン操作】：

…再生を一時停止させます。もう一度ボタンを押すと再開します。

…次（前）のファイルを再生します。

…再生を止めて、基本画面に戻ります。

…早送り／巻き戻しを行ないます。

…音量の大小を調節します。

…方向ボタンと決定ボタンを使ってファイルを選び、再生させることができます。

…一時的に消音します。再度ボタンを押すと消音が解除されます。

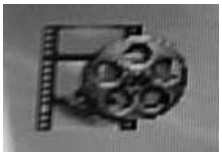
…別画面表示中にボタンを押すと、音楽再生画面にジャンプします。

【読み込みメディアを選ぶ】：再生操作の全てにおいて本体にメディアを挿入した後「設定メニュー」から「どのメディアを読み込むか？」を選択する必要があります。挿入したメディアと別のものが有効になっているとデータを認識できません。操作は「設定メニュー（P20）」からご確認ください。

写真 + 音楽再生

…読み込ませたいメディアを挿入後、基本画面から「写真 + 音楽」アイコンを選んで決定ボタンを押すと写真ファイルが順に切り替わるスライドショー再生に加えて、同メディア内にある音楽ファイルも同時に再生されます。

【参照】：P15
写真再生に関する操作は写真再生ページにてご確認ください。音楽再生は音量調節操作のみ可能です。



ムービー(映像)再生

…読み込ませたいメディアを挿入後、基本画面から「ムービー」アイコンを選んで決定ボタンを押すと映像再生画面が表示されます。

【再生可能なファイル】： .avi / .mpg

- **映像コーデック：mpeg1 / mpeg2 / mpeg4**
- **音声コーデック：mp2 / mp3 / ac3 / wma**

…再生可能ファイルについては P28 の注意をお読みください。

【映像再生中の画面表示】：

…ムービー（映像）再生画面の左半分は読み込み中のメディアやフォルダ（フォルダ分けされている場合に限る）の一覧が表示されます。右半分にはその中身（ファイル）が表示されます。

【映像再生中のリモコン操作】：

…画面内のファイル選択方法や音量、早送り／巻き戻し操作等、基本的には音楽再生操作と同様になります。
映像再生中は併せて次の操作が可能です。

拡大 …映像を拡大します。拡大中は方向ボタンで表示領域が移動します。

MOVIE …別画面表示中にボタンを押すと、映像再生画面にジャンプします。

【読み込みメディアを選ぶ】：再生操作の全てにおいて本体にメディアを挿入した後「設定メニュー」から「どのメディアを読み込むか？」を選択する必要があります。挿入したメディアと別のものが有効になっているとデータを認識できません。操作は「設定メニュー（P20）」からご確認ください。

各種設定をする

…基本画面から「設定」アイコンを選んで決定ボタンを押すと各種設定を行なう設定メニュー画面が表示されます。スライドショー再生方法や液晶画面調整、挿入中メディアのどれを読み込ませるか等の各種設定が行なえます。

本ページでは設定メニュー画面の基本操作をご紹介します。各種設定の詳細は次ページ以降をご覧ください。

【画面表示】：

1 **【カテゴリー】：**
設定可能なカテゴリーが縦に並びます。
選択中のものが黄色く点灯して表示されます。
右の画面では「フォト設定」が選ばれています。

【カテゴリー名】：
左端に並ぶカテゴリーアイコンで選択中のカテゴリー名が表示されます。

2 **【設定項目】：**
選択中カテゴリー内の設定項目が並びます。
選択中のものが黄色く点灯します。

3 **【仕様】：**選択中の項目の切り替え可能な仕様が並びます。選択中のものは黄色く点灯し、現在設定されているものにチェックマーク✓が入ります。

【設定メニュー内の操作】：上図の 1 ～ 3 と照らし合わせてご確認ください。

1 カテゴリーを選ぶ

設定項目毎にカテゴリー分けがされています。選択中のものが黄色く点灯して表示されます。上下方向ボタンで設定したいカテゴリーを選んでください。
カテゴリー選択後に右方向ボタンを押すと、選択枠が 2 の設定項目に移動します。

【フォト設定】：
画面表示の方法や仕様を切り替えます。

【自動再生】：
再生方法を切り替えます。

【ディスプレイ設定】：
明るさやコントラストを調整します。

【カスタム設定】：
言語等の環境や、読み込み先の指定をします。

2 設定する項目を選ぶ

1 でカテゴリーを選ぶと、その右側にカテゴリー内の設定項目が表示されます。選択中のものが黄色く表示されます。上下方向ボタンで設定したい項目を選びます。
設定項目選択後に右方向ボタンを押すと、選択枠が 3 の仕様一覧に移動します。

3 仕様を選ぶ

2 でカテゴリーを選ぶと、その右側にカテゴリー内の切り替え可能な仕様が表示されます。選択中のものが黄色く点灯し、現在設定中の仕様にチェックマーク✓が付いて表示されます。上下方向ボタンで選択後、決定ボタンで確定します。

フォト設定

再生間隔：
スライドショー再生時の写真の切り替わり時間を選択します。
ここで「オフ」を選ぶとスライドショー再生が行なわれず、次のファイルを表示させる時はスキップボタンを使った手動切り替えになります。

映像効果：
スライドショー再生時のファイル展開方法を選びます。
「効果なし」を選ぶと写真切り替わり時のアニメーション効果が無くなります。

画面比率：
写真再生時の画面枠への表示のさせ方を選択します。
「フィット」
…写真の縦横比率を保ったまま、画面枠内に収めて表示させます。
「全画面」
…写真を画面枠いっぱいに引き延ばして表示させます。元データの比率は崩れます。

表示項目：
写真再生時の画面表示内容を選択します。
「標準」…画面内に写真だけが表示されます。
「日付／時刻」
…画面を分割して左側にカレンダー、右側に写真を表示させます。写真表示部分の操作は写真再生操作を参照してください。

参照：
写真データを読み込んだ時の一覧画面を変更します。
「サムネイル」…プレビュー画像が一覧表示されます。
「ファイルマネージャー」…音楽や映像再生時同様のファイルリスト画面が表示されます。

自動再生

基本画面から写真／音楽／映像データの再生を行なう時のファイル展開方法を設定します。

「オン」
…再生時、認識したデータが自動的に展開されます。
「オフ」
…再生時、はじめにファイルリスト画面が表示され、再生させたいものを選択・決定するとデータが展開されます。

ディスプレイ

画面の表示色を調節します。調節したい項目に黄色い選択枠を合わせて右ボタンを押した後、上下ボタンで度合いを調節してください。

輝度／コントラスト：
…写真や映像再生等の表示部分の色を調節します。
TFT 輝度／ TFT コントラスト／ TFT 彩度：
…TFT 液晶画面の表示色を調節します。こちらは液晶画面全体に対しての調節になります。

カスタム

OSD 言語：画面表示言語を選択します。英語表示に対応した説明書のご用意はありません。

文字形式：ファイル名や eBook で使用する言語形式を選択します。

リピートモード：繰り返し再生の設定をします。

メディア：
フォトフレーム本体に挿入した読み込ませたいメディアを選択します。
こちらの設定でフォトフレーム本体に挿入したメディアが有効（✔の表示）になっていないと、再生画面でデータを認識できません。
一度に認識できるメディアは一種類に限られます。特に、複数のメディアを挿入している時にはこちらで選ばれているメディアしか認識しませんので、ご注意ください。

USB モード：
本体機能を変更します。
「本体に接続」
…本体に挿入したメディアを読み込み再生させる、通常のフォトフレームとして使用する場合にはこちらに設定してください。
「PC と接続」
…付属の USBmini ～ USB ケーブルを使用して PC 接続することによって、本フォトフレームをカードリーダーのように使用することができます。
PC 接続時はこちらに設定してください。

デフォルト：
デフォルトに選択枠を移動した時に右側に現れる「読み込み」に選択枠を移動し決定ボタンで確定させると、本体の各種設定をお買い上げ頂いた時の状態に戻すことができます。

【重要】：メディアの認識、本体機能の切り替え

本製品にメディアを挿入して使用する際、こちらでご紹介したカスタムメニュー内の**「USB モード／メディア」**の設定を確認してください。
操作に合わせた適切な設定がされていないと、うまくメディアを認識することができません。以下を参考に操作に合わせた設定をしてください。

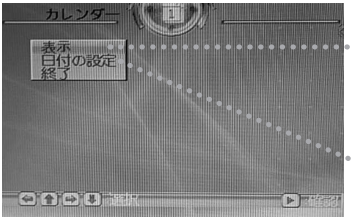
【 本体にメディアを接続して、フォトフレームで再生 】… の場合
・USB モード…「本体に接続」を選んでください
・メディア…挿入した（読み込ませたい）メディアを選択してください

【 PC に接続して、本製品をカードリーダーとして使用 】… の場合
・USB モード…「PC と接続」を選んでください
フォトフレーム本体に挿入するメディアは 1 種類にしてください。複数メディアを同時に読み込ませると動作上不具合が生じます。

カレンダー

…基本画面から「カレンダー」アイコンを選んで決定ボタンを押すとカレンダー操作画面が表示されます。
はじめてのご使用時は「日付の設定」を行なってください。

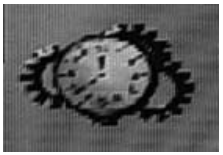
【画面表示内容と操作】：



・**表示**…カレンダーを表示します。

・**日付の設定**…選択後に決定ボタンを押すと、日付を設定する画面が表示されます。方向ボタンで年月日を設定し「OK」で決定ボタンを押すと設定完了です。

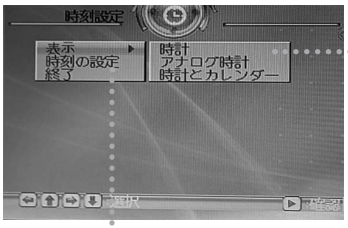
・**終了**…カレンダー画面を閉じて基本画面に戻ります。



時計

…基本画面から「時計」アイコンを選んで決定ボタンを押すと時刻設定画面が表示されます。
はじめてのご使用時は「時刻の設定」を行なってください。

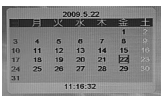
【画面表示内容と操作】：



・**表示**
…時計を表示します。

時計

アナログ時計



時計とカレンダー

・**時刻の設定**…選択後に決定ボタンを押すと、時刻設定画面が表示されます。方向ボタンで時刻設定し「OK」で決定ボタンを押すと設定完了です。

・**終了**…時刻設定画面を閉じ、基本画面に戻ります。

【注意】：本製品の時計機能は 24 時間制です。

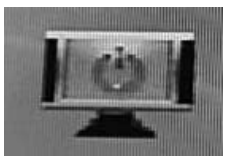
アラーム

…基本画面から「アラーム」アイコンを選んで決定ボタンを押すとアラーム設定画面が表示されます。
設定した時間にアラーム音でお知らせする機能です。

【画面表示内容と操作】：

- **有効**
…アラームのオン／オフを設定します。オンにすると設定時刻にアラーム音でお知らせします。
- **終了**…アラーム設定画面を閉じ、基本画面に戻ります。

- **時刻の設定**…選択後に決定ボタンを押すと、時刻設定画面が表示されます。方向ボタンでアラーム時刻を設定し「OK」で決定ボタンを押すと設定完了です。



自動電源

…基本画面から「自動電源」アイコンを選んで決定ボタンを押すと自動電源設定画面が表示されます。
設定時間に電源をオンもしくはオフにします。

【画面表示内容と操作】：

- **電源オンの有効**
…オンを選ぶと動作が有効になり、設定時刻になると電源がオンになりますます。
- **電源オフの有効**
…オンを選ぶと動作が有効になり、設定時刻になると電源がオフになります。
- **終了**…画面を閉じて基本画面に戻ります。

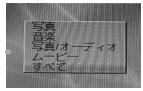
- **時刻の設定**…電源オン／オフのどちらを設定するか選択する画面が表われます。いずれかを選び、決定ボタンを押すと時刻設定画面が表われます。方向ボタンで時刻を設定して「OK」で決定ボタンを押すと設定完了です。

【注意】：「アラーム／自動電源」の機能を使用する時は、事前に前ページの「時計」にて現在時刻を設定してください。時計機能は 24 時間制です。

編集

…基本画面から「編集」アイコンを選んで決定ボタンを押すと次画面が表示されます。挿入メディア内に新しいフォルダを作成したり、データのコピーや削除等の編集作業が行なえます。

【画面表示内容と操作】：



1 編集データ種類を選ぶ

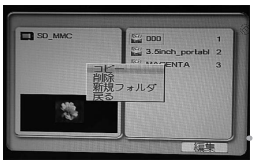
…はじめにどのデータを編集するか選択する画面が表示されます。方向ボタンでいずれかを選び決定ボタンを押すとデータ編集画面が表示されます。

2 編集対象データを選ぶ

…編集画面が表示されます。一覧から編集対象とするデータを選びます。編集したいデータを選び決定ボタンを押すと選択状態の黄色い反転が、囲み枠に表示変更し編集対象データとなります。

3 編集マークに移動

…編集対象データを選んだらリモコンの右ボタンを押して、右下の「編集」マークに選択枠を移動した後に決定ボタンを押します。



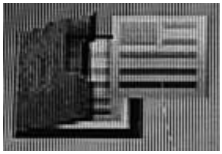
4 編集操作を選ぶ

【補足】：編集操作をキャンセルする場合は停止ボタンを押し、メニュー画面に戻ってください。

・コピー…「コピー」を選択後に決定ボタンを押します。どの場所にデータを貼付けるか確認後、再度右下の「編集」マークに移動して決定ボタンを押して、画面案内に従い決定ボタンを押し実行してください。同一階層には貼付けできません。

・削除…データを削除します。「削除」を選択後に決定ボタンを押します。確認画面が表示されるので「はい」を選んで決定ボタンを押すと、削除が実行されます。

・新規フォルダ…新たにフォルダを作成します。「新規フォルダ」を選択後に決定ボタンを押すと、名称入力画面が表示されます。半角英数字で名称入力後「Enter」で決定ボタンを押すと、新規フォルダが作成されます。



e Book

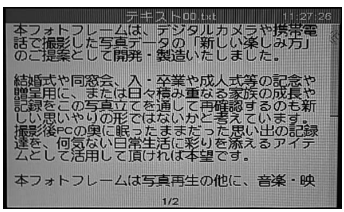
…基本画面から「e Book」アイコンを選んで決定ボタンを押すとテキストデータ再生画面が表示されます。

【再生可能なファイル】：.txt…再生可能ファイルについては P28 の注意をお読みください。

【画面表示内容と操作】：

1 再生データを選ぶ

…左のメディア・データの一覧から希望のデータを方向ボタンで選択し、決定ボタンで確定するとテキストデータが再生されます。

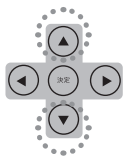


2 再生画面内の操作

…テキストデータが表示されます。1 画面で納まりきらない場合は複数ページに分けて表示されます。表示部分の移動は下記をご覧ください。

「ページ単位の移動」

前、もしくは次のページへ移動します。



「行単位の移動」

表示部を前もしくは次へ、一行づつ移動します。

【注意】：文字化けを起こしている場合、基本画面に戻り設定→カスタム→「文字形式」から適切な文字形式を選択してください（P20 参照）。

4 故障かな？と思ったら

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

P02 ～ 05 に記載の注意書き、及び本章をお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上で弊社サポートセンターまでご連絡ください。

主な不具合の原因と、その解決方法

本体が起動しない

・本体の電源ボタンを約３秒間長押しして液晶画面の反応を確認してください。点灯していなければ電源ケーブルの配線を確認してください。電圧の合ったコンセントに接続されているかを確認してください。

ボタン操作の反応が鈍い

・データの読み込みには多少時間がかかります。特に重たいデータの処理中は読み込みに時間がかかり、この時に重ねて操作を行なうと、後で全ての操作が反映され思わぬ誤作動を起こす場合があります。全ての操作は反応を確認しながら次の操作を行なうようにしてください。

リモコンが効かない

・リモコン用の電池はセットされていますか？　また、電池の極性は正しくセットされていますか？　（→ P8 参照）

・ご購入時は、電池トレイ底面に透明の絶縁フィルムが挟み込まれています。取り外してお使いください。

・製品に付属しているリモコン用電池は、動作確認用です。このためすぐにバッテリー切れになる場合がありますので、通常ご使用分は別途ご用意ください。
リモコンに使用する電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。

・リモコン操作は、本体のリモコン受光部に向けて行なってください。

映像や音声が正常に出力されない

・次のとき、本体のスピーカーから音声は出力されません。
［イヤホンを接続している／音量が０になっている／消音ボタンが押されている］

・本書に記載のある再生可能なメディアやファイル形式であっても正常に読み込みできない場合もあります。メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によっては再生できない場合もあり、接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません、予めご了承ください。

時計表示の時間がずれている

・お買い上げ後、現在時刻を設定する必要があります。基本画面→時計→「時刻の設定」から設定してください。

アラームが正しく動作しない

・お買い上げ後、現在時刻の設定はお済みですか？　時刻を設定していないと、アラームを含む時計機能が正しく動作しません。時刻の設定はP21をご覧ください。

・基本画面→アラーム→「有効」の項目がオンに設定されていることを確認し、同画面「時刻の設定」でアラーム時刻を設定してください。

・時刻の表示、及びアラーム時刻の設定は24時間表示のものです。設定の際にはご注意ください。

カレンダーの日付がずれている

・お買い上げ後、現在の年／月／日を設定する必要があります。基本画面→カレンダー→「日付の設定」から設定してください。

自動電源オン／オフ機能について

・自動電源機能をご使用頂く場合、お買い上げ後に現在時刻を設定する必要があります。基本画面→時計→「時刻の設定」から設定してください。また、自動電源の時刻は24時間制で正しく設定されていますか？　基本画面→自動電源→「時刻の設定」から設定してください。

・自動電源機能は、一度設定すると決まった時刻になると毎日同様の動作が行なわれます。必要のない時は「自動電源オン、オフの有効」項目を「オフ」にしてください。

スライドショーの切り替え時間が早すぎる

・基本画面→設定→フォト設定→「再生間隔」でスライドショーの間隔を設定してください。ここで「オフ」を選ぶとスライドショーは行なわれません。

液晶画面が暗い（明るい）

・基本画面→設定→ディスプレイ内の設定項目で液晶画面の輝度やコントラストを調整してください。

写真の縦横比率を変更する

・基本画面→設定→フォト設定→「画面比率」でフォトフレーム枠内への写真表示方法を変更できます。

画面の表示言語が外国語になっている

・基本画面→設定→カスタム設定→「OSD言語」で日本語を選択してください。

ファイル名の日本語表示

・日本語のファイル名を表示させたい時は基本画面→設定→カスタム設定→「文字形式」で「日本（Unicodeもしくは Shift-JIS）」を選択してください。
また、ファイル名で使用する文字によってはここで日本語を選択しても正常に表示されない場合もあり、文字化けによる動作や認識上の不具合が生じることがあります。
ファイル名については基本的には半角英数字を使用することをお勧めします。

電源を入れたがスライドショーが始まらない

・電源を入れた直後にスライドショー再生が始まるようにするためには基本画面→設定→自動再生→「写真」項目をオンにしてください。

・挿入データ内に再生可能な写真データ（.jpg/ .bmp）が無い時はスライドショー再生は行なわれず基本画面が表示されます。

勝手に再生が始まる

・電源を入れた直後に自動的に写真のスライドショー再生が始まる、または基本画面から写真／音楽／映像アイコンを選んだ直後に自動的に再生が始まる、等の動作は設定により変更が可能です。
基本画面→設定→自動再生→「写真、音楽、ムービー」項目で「オン」が選ばれている時は再生画面を開くと自動的にファイル再生が行なわれます。
ここで「オフ」が選ばれている時は再生画面を立ち上げると、ファイル選択画面が表示されます。

PC に接続する場合

・PC に接続する場合は基本画面→設定→カスタム→「USB モード」の項目で**「PC と接続」**を選んでください。
また、データ転送が終わったら同項目を**「本体に接続」**に戻し、USB ケーブルを取り外してくださいてください。

・PC に接続してフォトフレームをカードリーダー代わりに使用する場合は、フォトフレーム本体に接続するメディアは 1 つだけにしてください。
複数のメディアを同時に接続すると処理が追いつかず、フォトフレーム及び PC がフリーズしたり誤動作をしたりします。

・PC 上への表示のされ方は接続 PC によって異なりますが、通常「リムーバルメディア(E や F 等)」として認識されます。PC 上では基本的なデータ転送操作になります、詳細はお使いの PC の説明書をご参照ください。

フォトフレームに挿入したメディアが認識しない

・本製品をフォトフレームとして各種再生にご使用頂く際は、基本画面→設定→カスタム→「USB モード」の項目で「本体に接続」を選んでください。ここで「PC と接続」が選ばれていると PC 接続モードに機能が切り替わり、フォトフレーム本体でメディアを認識・再生することができませんのでご注意ください。

・再生するメディアを選択する必要があります。基本画面→設定→カスタム→「メディア」項目で再生させたいメディアを選択してください。
通常挿入メディアが一つであれば本体が自動的に認識しますが、複数メディアを挿入している場合や以前に読み込んでいたメディアの記憶が残っていた場合、PC との接続後等で正常に作業が終了されなかった場合には認識エラーが発生します。上記の設定で再生メディアを選択してください。

・カードリーダーを介してメディアを接続している場合は接続ケーブル間で接点のロスが生じ、うまく認識できない場合があります。その場合はフォトフレーム本体に直接メディアを挿入してください。

データが表示できない、読み込めない！？

…写真や音楽、映像等のパソコンで作成したメディアやファイルの再生については、メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によっては正常に再生できない、または読み込めないものもあります。このため接続する全てのメディアやファイル形式の動作を保証することはできません、予めご了承ください。また、大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

[直接挿入が可能なメディア]

・MMC　・CF　・USB フラッシュメモリ

…メディアを挿入して読み込ませるには「本製品でどのメディアを読み込むか？」及び「どの操作を行なうか？」を指定する操作が必要です。詳細は P20 をご覧ください。また、挿入メディアと中身のファイルは PC 上で定期的に診断とウィルスチェックを行なってください。破損したデータの入ったメディアやウィルス感染したメディアは読み込めなくなるだけでなく、本機や接続 PC の不具合を招きますのでご注意ください。

[再生可能なファイル]

・写真….jpg/.jpeg/.bmp
・音楽….mp3/.wma
・映像…ファイルフォーマット：.avi/.mpg
　ビデオコーデック：mpeg1/mpeg2/mpeg4
　音声コーデック：mp2/mp3/ac3/wma
・書類….txt（リッチテキストや html 等の多機能ファイル形式を除く）

…補足、ファイル名
本機では日本語ファイル名の表示が可能ですが、一部文字化けします。特殊記号等の文字化けによるファイル認識エラーも生じますので、ファイル名は基本的には半角英数字の使用をお勧めします。また、不可視ファイルが存在すると認識不具合が生じます。PC 上で削除してから本機に挿入してください （例：ファイル名の先頭に「 . 」のついたものや、薄いグレーで表示されるファイル）。

…補足、ファイルの並び順
本機ではメディアに書き込まれた順番でファイルが並びます。

MEMO

MEMO

MEMO

製品仕様／お問い合わせ

製品名／型番	7 インチ液晶 デジタルフォトフレーム／ DS-DA70N200BRM/PM/WH
本体色	外枠：透明 内枠：ブラウンメタリック(BRM)、ピンクメタリック(PM)、ホワイト(WH)
外形寸法	243×178×30mm（横幅 × 高さ × 厚さ）
本体重量	500g（スタンド含む）
電源	AC100V - 240V　50 / 60Hz、電源アダプタ：12V 1A
消費電力	9W ／待機時：0.15W
液晶パネル	サイズ：7 インチ（16：9）、480×234pixels 画面輝度 =200 cd/m2、コントラスト比 =300：1 視野角 = 上下：40°～ 65°／ 左右：65°～ 65° 表示色数 =1,677 万色、バックライト寿命 ≦ 10,000 時間
再生ファイル形式	・写真….jpg/.jpeg/.bmp ・音楽….mp3/.wma ・映像…ファイルフォーマット：.avi / .mpg ビデオコーデック：mpeg1 / mpeg2 / mpeg4 音声コーデック：mp2 / mp3 / ac3 / wma ・書類….txt
対応 OS	Windows XP
スピーカー	最大出力：2W×2
接続端子	・入力：USB ／ miniUSB ／ MMC ／ CF ／電源入力 ・出力：映像・音声／イヤホン（φ 3.5mm）
動作環境	温度：5 ～ 35℃
製造国	中国

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。予めご了承ください。また、再生ファイル形式や挿入メディア、動作環境については本書記載の注意をご覧ください。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231–0033　神奈川県横浜市中区長者町 3–8–13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120–602–302

ホームページ　http://www.zox–net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。